

認定番号：90

サポーター名：特定非営利活動法人ウェザーフロンティア東海

取組実績

- ・東海市平洲地区愛知県河川課協働事業「みずから守るプログラム」への参画
- ・清須市災害ボランティアコーディネーター向け研修会の実施
- ・清須市土田地区愛知県河川課協働事業「みずから守るプログラム」への参画
- ・岐阜県地域防災リーダー養成講座で気象防災に係る講座に講師を派遣
(可児市、御嵩町、土岐市・瑞浪市 (合同) の3ヶ所の講座に講師を派遣)

愛知県河川課「みずから守るプログラム」令和5年10月29日(日)

東海市平洲地区 第1回活動 木庭公民館

◎木庭地区周辺および大田川流域の地勢の成り立ち、水害の歴史、ハザードマップなどについて解説



・大田川流域の水害の歴史及び流域に発表された洪水時予想浸水深、浸水継続時間、家屋倒壊等危険区域について解説。この地域の災害地形の特徴を学習し、想定される水害のリスクについてまち歩き行い浸水時を想定して避難行動について考える。

・新旧地形図、地盤高図、大田川の流域の地形の変遷、などを学習し、自分たちの住む町の水害リスクを把握するとともに、想定される水害リスクを正しく認識する。また、想定外も予測して、浸水リスクが現在小さいと思われる地区も、安心せず災害への準備を怠らないようにする。

◎手作りハザードマップの作成について、記入事項の項目や注意点等を解説。その後班毎に分かれてまち歩きへ(地域の水害危険箇所・避難ルート、いざというときに逃げ込める一時避難場所などをチェック)



・町内を班分けし、身近な危険箇所や、氾濫流の方向、水が早くたまる場所、一時的な避難場所をまち歩きで確認し地図に記入する。
・各人で危険箇所をチェックし、家族や班単位で、避難行動する場合の安全な避難ルートを確認し、地図に記入する。



◎ 班ごとに記入したチェック項目をA1大の白地図に、意見交換しながら記入する



・まち歩きから帰った後、各テーブルで地図上にチェックしてきたことを記入し、付箋で注意点や地域の課題、要望等を書き加える
・積極的に意見を出し合い検討して、要点をまとめて記入する。



◎ 各班の発表



・班ごとにまとめた結果を各班の代表が地図を示しながら発表する。
・各班の地区の特徴を参加者に説明し、意見交換しながらより適切な避難行動は何かについて考える

